平成 22	年度事務	事業	評価シート	(平成 21	年度実施	拖事業	(整理番	号 保福支	31
事務事業名	交流ふれあい推済	進事業			会計	1 —		計		
40		- 7 / 17			笛	3 民生				
総 合 の目標(章)		生きと暮	暮らせるやさ	しいまち	科		会福祉費 人福祉費			
本施策(節)	3 高齢者福祉				事業		人福祉援			
本 施策(節) 施策の方向		アシスニ	テムの構築		尹木	1 42/	八十田 111.1万	11支		
— 1	等羽曳野市高年いる				作成部署 保健福祉部福祉支援課					
事対象(誰を					連絡先	072 - 9	958 - 111	.1 内	線 1211	
業 65歳以上の	市民									
意図(どう	いう状態にしたい	のか)								
	ウ 公衆浴場をコミュニケーションの場として提供し、入浴を通じて健康増進を図る。									
事とハ血炎	いこいの家で発行さ み場をコミュニケー									
* C \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	F場をコミューケー その維持増進を図る。		り物として1疋	供し、八佾で	と来しんく	(\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	- \	と取りるこ		76
内										
容	容									
根拠法令等	公衆浴場の確保の	のための	の特別措置に	関する法律、	羽曳野市	向野共	同浴場夠	⊱例		
	□ 昭和 □ □ 田碑にはわからかい 終了年度 平成 年度									
	事業開始時期									
事業開始時から の状況変化	平成21年度から委	託料の月	月額上限をそれ	までの半額と	することで	事業の	見直しを	図った。		
市民や議会の要										
望							_			
実施手法	直営		_	全部委託	□ 補助金	•助成:	金] その他()
委託先	□ 市外郭団体委託 ✓ 民間委託	名称	(□ その他)	委託内容	無料入	浴事業の	実施		
	M MHXIII			01 5 =	00 = =					
区	分		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込み		600	活動単	位当たりコスト	
区 事業費【1】	分	(千円)	(実績) 430	21年度 (実績) 300	(見込み		600	活動単	位当たりコスト	
事業費【1】 人件費【2】		(千円)	(実績) 430 300	(実績) 300 300	(見込み 3 3	300 300	500	活動単	位当たりコスト	
事業費【1】 人件費【2】 正規職員			(実績) 430 300 0.04 人	(実績) 300 300 0.04 人	(見込み 3 3 0.04	800 800 人	500	活動単	☆当たりコスト	
事業費【1】 人件費【2】 職職 再任用調	員 職員		(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人	(見込み 3 0.04 0.00	500 500 人 人	500 400 300	活動単	☆当たりコスト	
事業費【1】 人件費【2】 正規職員 再任用時	員		(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人	(見込み 3 0.04 0.00 0.00	500 500 人 人	500 400 300 200	活動単	☆	
事業費【1】 人件費【2】 職職 再任用調	員 員 員		(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00	500 500 人 人	500 ———————————————————————————————————	活動単	☆当たりコスト	
事業費【1】 人件費【2】 職員 再任用時間	員 員 員	(千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00	500 500 人 人 人	500 400 300 200			極
事業費【1】 人件費【2】 正規職員 五月四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	員 職員 員 動 参考)	(時間)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 向間	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00	500 500 人 人 人	500 ———————————————————————————————————	活動単	位当たりコスト	票)
事業費【1】 人件費【2】 職員数 正規照與 四人 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	員 職員 員 動 参考)	(時間) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 向間	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00	500 500 人 人 人	500 ———————————————————————————————————	20	21 22(目本	票)
事業費【1】 人件費【2】 一時數學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	員 職員 員 参考) 1】+【2】)【A】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 向間	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00	500 500 人 人 人	500 ———————————————————————————————————	20		票)
事業費【1】 人件費【2】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員 職員 員 参考) (手数料・使用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00	300 300 人人 人 人 —————————————————————————	500 400 300 200 100 0	20	21 22(目柱	漂)
事業費【1】 人件費【2】 職員数 超無関数 超業 財源内訳 対源内訳 を書 は () () () () () () () () () (員 職員 員 参考) 1】+【2】)【A】 (手数料・使用料等) 原	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 730	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00	300 300 人 人 人 500 500	500 400 300 200 100 0	20	21 22(目柱	(標)
事業費【1】 人件費【2】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員 参考) 1】+【2】)【A】 (手数料・使用料等) 原	(時間) (時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00	600 (A) (A) (B) (B)	500 400 300 200 100 0	20	21 22(目柱	漂)
事業費【1】	員 参考) 1】+【2】)【A】 (手数料・使用料等) 原	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 730 730 20年度	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 局間 600 21年度	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00	600 (A) (A) (B) (B)	500 400 300 200 100 0	20	21 22(目柱	摽)
事業費【1】	員 参考) (手数料・使用料等) 原 (の活動実績) 【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 22年度(目	600 人人人 時間 600 標)	500 400 300 200 100 0	20	21 22(目柱	標()
事業費【1】 大件費【2】 正月嘱節動 (2) おままり 日本の (2) 日本の (2) 日本の (3) 日本の (4) 日本の (4	員 職員 員 参考) (手数料・使用料等) 原 をの活動実績)【B】	(時間) (手円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 6 22年度(目 1,2	300 300 人人人 時間 300 標)	2,500 2,500 2,500 1,500	20	21 22(目柱	(標)
事業費【1】 大件費【2】 正月嘱節動 (2) おままり 日本の (2) 日本の (2) 日本の (3) 日本の (4) 日本の (4	員 参考) (手数料・使用料等) 原 (の活動実績) 【B】	(時間) (手円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 6 22年度(目 1,2	600 人人人 時間 600 標)	2,500 2,500 1,500 1,000	20	21 22(目柱	
事業費【1】 人件費【2】 職員数 超業 国府市 そ 一標(開助)	員 職員 員 参考) (手数料・使用料等) 原 をの活動実績)【B】	(時間) (手円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 5 22年度(目 1,2 500 5	300 300 人人人 時間 300 標)	2,500 2,500 2,000 1,500 1,000 500	20 成:	21 22(目標	T
事業費【1】	員 参考) (手数料・使用料等) 原 をの活動実績)【B】 (コスト(【A】/【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 5 22年度(目 1,2	300 300 人人人 時間 300 標)	2,500 2,500 2,500 2,000 1,500 500	20 成	21 22(目标果指標① 21 22(目標 平成22年(06)	T
事業費【1】	員 議員 員 参考) 1】+【2】)【A】 (手数料・使用料等) 原 (の活動実績)【B】 (T) コスト(【A】/【B】 コスト(【A】/人口 指標名	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 5 22年度(目 1,2 500 500 1標 実	300 300 人人人 時間 300 標) 300 円円	2,500 2,500 2,500 2,000 1,500 1,000 500	20 成: 成21年度 188 達成率	21 22(目标 果指標① 21 22(目標 平成22年 (%) 1,	票)
事業費【1】	員 議員 員 参考) 1】+【2】)【A】 (手数料・使用料等) 原 (の活動実績)【B】 (T) コスト(【A】/【B】 コスト(【A】/人口 指標名	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147 340 円 6 円	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 5 22年度(目 1,2 500 1標 実績	300 300 人人人 時間 300 標)	2,500 2,500 2,500 2,000 1,500 1,000 500	20 成: 成21年度 188 188 100.	21 22(目标 果指標① 21 22(目標 平成22年 (%) 1, 22(目標	票)
事業費【1】	員 議員 員 参考) 1】+【2】)【A】 (手数料・使用料等) 原 (の活動実績)【B】 (T) コスト(【A】/【B】 コスト(【A】/人口 指標名	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147 340 円 6 円	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 5 22年度(目 1,2 500 500 1標 実	300 300 人人人 時間 300 標) 300 円円	2,500 2,500 2,500 2,000 1,500 1,000 500	20 成: 成21年度 188 達成率	21 22(目标 果指標① 21 22(目標 平成22年 (%) 1, 22(目標	票)
事業 【1】	員 議員 員 参考) 1】+【2】)【A】 (手数料・使用料等) 原 (の活動実績)【B】 (T) コスト(【A】/【B】 コスト(【A】/人口 指標名	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	(実績) 430 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 730 730 20年度 2,147 340 円 6 円	(実績) 300 300 0.04 人 0.00 人 0.00 人 0.00 時間 600 21年度 1,188	(見込み 3 0.04 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 5 22年度(目 1,2 500 5 1標 実績 目	300 300 人人人 時間 300 標) 300 円円	2,500 2,500 2,500 2,000 1,500 1,000 500	20 成: 成21年度 188 188 100.	21 22(目标 果指標① 21 22(目標 平成22年 (%) 1, 22(目標	票)

市の問			市の関与が必要な理由										評価			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明				
	関与の必要		法令上 の義務	受益者 が不特 定多数	最低限 の生活 水準を 確保	市民の 不安を 解消	社会的 経済的 弱者を 対象	民間だ けでは 負担しき れない	民間だ けでは 供給不 足	市の特色等を 市内を へ発化	を にも受 外 益があ	有	コミュニケーションの場 の提供と健康増進、また 公衆浴場確保法により、 必要な事業とされてい る。			
	要 性			O				O								
	視,	点	分析のためのチェック点						はいい	バえ 該当 なし						
			市民ニーズが高い					V		近年、毎月上限に設定している内の7、8						
			市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない								割の高齢者が利用しており、ほぼ一定の割 合を保っている。					
			社会情勢の変化に対応している						<u> </u>			また公衆浴場確保法により、市民の利用機				
	妥当	性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない								会の確保を図る。					
			国・府の事業と重複していない							7 D						
			事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい							$\Box \Box$						
			緊急性が認められる													
			単位コストが適切である(経年、他市比較など)						Image: section of the		近年では、利用者の割合が上限の7、8割					
			受益者負担の割合は適当である						<u> </u>		を一定に保っており、まだ様子を見る必要 がある。					
λ			人員を削減する余地がない													
分 析	効率	咝性	事業費を削減する余地がない						<u> </u>							
•			簡略化できる方法や手段がない													
評価			市の他事業と重複していない					<u> </u>	$\Box \Box$							
価				(民間委託. 余地がない		ランティア、I	PFIなど)の	活用につい	· 🗆							
			上位の施	策(目的)か	ぎ明確である	3			V				やコミュニケーション推			
	有效	カオ¥▐	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である					<u> </u>		進等に貢献している。						
	D 22	J 1.	成果を向上させる余地がない													
			市民の視	点にたって [・]	サービスが	提供されて	いる		☑	<u> </u>						
		-	事業の企画、立案に市民が参加している													
	協働	カヤ牛 🖡	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている								1					
			事業の実施について積極的に市民の意見を反映している													
		_	事業の実施に市民の参加、協力が得られている						<u> </u>		H-4+1 > 1	41 m 42 W .	5 (t = 1)			
	\ _1	-	成果指標の目標値は適正である										り統計をとり、今後の事 X要がある			
	達风	-	度 成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している						믞片	米及所で	開を考慮する必要がある。					
				は前年度よ	り向上して	いる			<u> </u>							
		総合	評価													
			拡大∙∶	充実 🔽	現状維	掛 □	方法改善	善 □ 民	営化・民	間委託	□ 縮小	\	饔止·休止 □ 完了			
4	旦	評価の理由														
1	当「	1														
J	哥									て機能しており、健康の						
	評															
	今後も一定の利用者数が続くようなら予算の削減も考慮に入れる必要があるが、人口的には高齢									コ的には高齢化の傾向に						
	あり、見極めは難しい状態である。															
		総合	評価							循理:	意景					
¥																
ž	本 拡大・充実 現状維持 方法改善															
200																
Ĭ	di di		茂宮化*	武士	■ 縮/	L	」廃止	体业 🔲	元 了							